

平成23年度 第2回函館市地球温暖化対策地域推進協議会 会議概要

1 日 時 平成24年3月27日(火)午後2時～午後3時

2 場 所 函館市民会館大会議室

3 出席者 委員(19名)

石原千鶴会長, 竹内正幸副会長, 佐々木文子委員代理・小林千代子氏,
陳有崎委員, 赤石哲明委員, 渡部鯉子委員代理・佐々木香氏, 高橋泰助委員,
藤森和男委員, 工藤利夫委員, 砂原壮吉委員, 村上哲夫委員代理・辻廣孝司氏,
後藤健夫委員, 梅澤秀敏委員, 松原仁委員, 伊藤聡委員, 津金孝行委員,
三浦征則委員, 林充委員代理・大月淳氏, 平澤輝茂委員

事務局(6名)

小柳環境部長, 岡崎環境企画課長, 山中環境企画課主査,
池田環境企画課主査, 中村環境企画課主任主事, 館澤環境企画課主任主事

4 傍聴者 報道関係3名

5 発言要旨

《1 開会》

(石原会長)

昨年8月の協議会設立以来, 協議会事業の推進に格別の協力を賜り, 平成23年度の事業が予定通り実施できたことに対し御礼申し上げます。

昨年は東日本大震災の影響により, 節電意識が高まるなど, 私たちの日常生活にも変化が見られ, 省エネルギー行動にも多くの関心が寄せられた。

また, 地球温暖化問題についても様々な状況の変化が見られた1年だった。

このような中で, 協議会が中心となって, 地域の取り組みを進めていくことは, 非常に重要なことであり, 協議会の目的である, 「函館市における日常生活に関する温室効果ガス削減のための具体的対策を連携して協議・実行する」ため, これからも協力をお願いしたい。

《2 挨拶》

(小柳環境部長)

昨年8月に協議会が設立されてから7ヶ月が経過したが, この間, 函館市と協議会の共催事業についても, 皆様の尽力により予定通り実施できたことに対し, あらためて御礼申し上げます。

地球温暖化問題に関して, 国においては, エネルギー基本計画の見直しを行う中, 昨年12月には, 南アフリカのダーバンにおいて第17回国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP17)が開催されたが, 会期が1日半延長されるなど話し合いは難航し, 日本は京都議定書の第2約束期間には参加せず, 当面は2020年までの25%削減目標に基づき, 自主的に削減努力を続けることとなった。

また, 新たに「ダーバン・プラットフォーム」と呼ばれる, アメリカや中国などの温室効果ガスの主要排出国すべてを対象にした枠組みを2015年までに採択し, 20

20年に発効を目指す合意文書が採択された。

COP17での環境大臣の演説では、東日本大震災という国難にあっても、日本国民は気候変動問題に積極的に取り組んでいることや、新しいエネルギーベストミックス戦略・計画に向けた検討と、今後の温暖化対策の検討を表裏一体で進めていることを表明した。

このように、国内外において地球温暖化対策が後退していることはなく、本市における地球温暖化対策についても、取り組みを進めることの重要性に変わりはないことから、引き続き、皆様のご協力をお願いしたい。

《3 議題》

(1) 平成24年度事業計画(案)について

・事務局より、資料1に基づき説明があった。

(高橋委員)

予算の裏付けと、プロジェクトチームを作った場合に提言を出す時期など全体的な流れについて教えてほしい。

(岡崎課長)

協議会固有の予算付けはされておらず、函館市の温暖化対策の予算が本協議会の運営・事業経費となっている。温暖化の予算は平成24年度で約90万円あり、そのうちの一部が本協議会に当てられる経費となっている。

部会に関しては、さまざまなプランニングの中で行政が関わるもの、あるいは市民や事業者を対象とする事項も出てくるかと思うが、それを協議会として取りまとめ、意思統一をしたうえで、具体的な事業の実施に向けては、行政としては実施主体となるべく予算措置をし、また、各事業者・事業者団体、あるいは各種団体にも本協議会の提言等を伝えて、それぞれ実践にあたって考慮していただくことを考えている。

(高橋委員)

部会の進め方について、まだはっきりしていないのかと思うが、例えば、次回の協議会までにまとめることができれば、次回協議の対象になるのか。

(岡崎課長)

この後の報告事項に関わるが、部会を設置する場合に定める運営要領の中で設置期間も定める。あまりに長いと結論もなかなか出ないと思うので、現時点では、設置から2年を期限として、部会として一定の方向づけをしたものを本協議会の全体会議に報告するというようなイメージを持っている。

(松原委員)

ノーカーデ事業は非常に良いことだと思うが、大都市のように公共交通機関が便利なところでは良いのだが、函館でこういうことがどれくらい実行できるのかと思う。

(石原会長)

これからの話合いによって結果的にどういうかたちになるか大変難しい問題だと

思うが、こういうものを設けることによって、市民の車に対する使い方などが大きく変わっていけば良いと思う。

(岡崎課長)

公共交通機関を整備しなければ車に依存した社会構造の変革は難しいのは確かであり、市では、公共交通についての協議会があり、そこで市電、バス事業を含めた交通事業のあり方について検討しているし、24年度からは総合交通的なことを扱うセクションを強化すると聞いている。

本協議会は、例えば公共交通について市から諮問を受けて答申するという立場ではないが、それぞれの分野の委員の皆様には自由な発想で意見をいただいて、提言書としてまとめたものを関係機関にも持って行くというような機能もあるので、困難性はあるが、地域の課題としてご協議いただければと思う。

(村上委員代理・辻廣氏)

ノーカーデーの名称について、ハイヤー協会としては、ハイヤーも車なので、できれば「ノーマイカーデー」といった名称に変更していただいたほうが適切かと思う。

(岡崎課長)

もし今、皆様の賛同が得られるのであれば、この議案自体を「ノーマイカーデー」と修正したい。

(石原会長)

「ノーマイカーデー」とすることでよろしいか。

(「異議なし。’)の声あり。」

それでは、そのように修正することとする。

(林委員代理・大月氏)

エコフェスタについて、環境フェスティバル実行委員会の主催ということであるが、2012年のエコフェスタは実施方法の大幅な変更も検討すると聞いていたが、時期や場所など大まかなことは決まっているのか。

(岡崎課長)

未定であるが、秋に戸外で多くの方に来てもらうためには、やはり緑の島が最有力とのことで、時期と場所については従来と変わらないことも考えられる。ただ、内容や運営方法については、若干の変更があるかもしれないと聞いている。

(砂原委員)

地球温暖化対策優良事業者登録制度について、登録することによってメリットがあって初めて制度の導入が進むのではないか。

実際、トラック協会では、グリーン経営といって、地球温暖化対策に取り組んでいる業者にはグリーンマークが与えられる制度があり、取得するのに20万円ほどかかるが、それを取得することによってGマークという、上の制度を取得する際に加点され、そうすると荷主が選んでくれるというメリットのあるシステムができている。

(岡崎課長)

内容については今後検討していくが、登録した事業者や団体がそのことを表示したり、あるいは、どんなところが登録しているかをホームページや様々な広告媒体等でお知らせすることで、温暖化や省エネに取り組んでいる事業者というイメージを外部に対して示すことができる点がメリットかと思う。

さらに、各種制度においてそれをポイント化するとか、公共事業等についての優先課題とするとか、さまざまな展開が考えられるが、それらについても、今後制度設計を進めていく中で、どこまで可能かという部分を検討していきたい。

インセンティブがなければ制度としてなかなか普及しないということも確かなので、今後の検討課題として受け止めていきたい。

(石原会長)

Gマークというのは、いつごろスタートして、どのように運用されているものなのか。

(砂原委員)

10年くらいたつと思うが、国交省のほうで進めているものである。

最近では、大手の発注元のようなところでは、Gマークを取得した業者でないと頼まないということがだんだん広がってきており、運送業者でもだいたい大手のところはGマークを取得している。Gマークは誰でも申請すれば取得できるものではなく、きちんと法令を守る、ということで初めて認められるものであり、当協会としては、特にGマークについては取得するように勧めている。

そのほかに、地球温暖化に関しては、グリーン経営というものがあり、Gマークとグリーン経営という、2つの看板を並べているところも実際にあって、それは仕事をしやすい環境づくりをどんどんやっているということになる。

(石原会長)

そのように、あまり時間をかけないで広報することができたらよいが、なかなか時間がかかるのかとも思う。

- ・平成24年度事業計画については、「ノーカーデー」を「ノーマイカーデー」と修正したうえで承認された。

(2) その他

- ・事務局より、資料2～4に基づき、函館市地球温暖化対策地域推進協議会部会運営要領、平成23年度事業計画の実施状況、協議会委員連絡先一覧の作成について説明があった。

(高橋委員)

プロジェクトチームのメンバーの募集について、この場であり得るのかと聞いていたのだが、いつになるのか。

(石原会長)

できれば今日お話ししたかったが、参加人数等のこともあるので後ほどお願いに上がろうと思っていた。

(岡崎課長)

今日の協議会で2つの部会の設置について承認をいただいたということで、具体的な構成員については、規定により会長が指名することとなっているが、委員の皆様様の意向確認をさせていただいたうえで速やかに指名の連絡をしようと考えており、新年度に入って間もなく、部会発足の手続きを取りたい。

(高橋委員)

「ノーマイカーデー」の提案をさせていただいたが、その意義について説明させていただきたい。

市ではコンパクトシティをうたっているが、市民が参加できるような具体的なものが少なく、我々が実感を持ってCO₂を減らすという共通体験をできるようなものがあればよいと思うし、公共交通機関の不便さも実感できるという点で問題提起にもなると思うので、声がかかった場合にはぜひ協力をお願いしたい。

《6 閉会》